

芝浦工業大学ロボット研究室研究交流プログラム[受入] 韓国

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2025年02月14日 ～2025年02月26日	日本	釜山大学校	電気工学科、 電気電子情報工学専攻 学部2～4年生、 修士1～2年生	(芝浦工業大学) 学生10名、 学生バイト8名、 教員5名 (釜山大学校) 学生13名、 教員1名	吉見 卓 (電気電子工学課程電気・ロ ボット工学コース) 安藤 吉伸 (電気電子工学課程電気・ロ ボット工学コース)、 長谷川 忠大 (電気電子工学課程電気・ロ ボット工学コース)、 安孫子 聡子 (電気電子工学課程電気・ロ ボット工学コース)、 米満 文徳 (電気電子工学課程電気・ロ ボット工学コース)



全参加者

今年度も韓国釜山国立大学(PNU)からの学生を迎え、受入gPBLを実施した。今回は、PNUから13名(学部4年生3名、修士課程1年生10名)と、昨年の3倍以上の多くの学生の参加があり、SITからの参加学生10名(学部2年生2名、学部3年生5名、学部4年生2名、修士課程1年生1名)と合わせて総勢23名と、大規模なgPBLとなった。このため、日韓の混合グループを4つ設け、電気・ロボット工学コースの4研究室(安孫子研究室、安藤研究室、長谷川研究室、吉見研究室)にて、それぞれの研究室が用意した課題の解決に取り組んだ。各研究室の設定テーマは、ヒューマノイドロボットを用いたマニピュレータの軌道生成シミュレーション(安孫子研)、ライトレースロボットの開発及び機能拡張(安藤研)、自律移動ロボットによる人追従(長谷川研)、ヒューマンフレンドリーな案内ロボットの実現(吉見研)である。短期間ではあったが、いずれのグループもメンバーが協力し合い、議論を重ねながら課題に取り組んでいる姿が見られた。また、学外活動としては、国内のメーカーや公的研究機関の施設見学を行い、日本の先端的なメカトロニクス技術に触れ、知見を深めた。さらに、最終日には最終報告会が開催され、各グループからプロジェクトへの取り組み結果に関する発表がなされ、その後の閉会セレモニーでは、参加者全員に修了証が授与された。参加学生は、本プログラムへの参加を通して、技術的な知見を広めるとともに、グループ活動での交流を通して、日韓の相互理解を進めることができた。



研究室活動(1)



研究室活動(2)



移動ロボット実験



ロボットアーム実験



研究室見学



最終発表会